

学校教育目標「心豊かで たくましく いきぬく子」

よく考えやりぬく子〈知〉 仲よく協力する子〈徳〉 健康で体力のある子〈体〉

運動会の練習が始まります

昔の人の言葉に「最高の勝利は自分自身を乗り越えることだ。」というものがあります。本日から運動会の練習が始まりました。「今年は絶対優勝したい!!」「毎年、紅組が優勝するので、今年紅組でよかった。」などいろいろな考えや意見を言ってくれます。「団体競技に出ない!!」・・・理由を聞くと「めんどくさいし疲れる。」など素直に自分の思いを語っています。しかし、本番が始まると、みんなが一生懸命になります。面倒くさいと言っている子も、「楽しかった。」と口々に言います。そして、「もっとこうしておいたら・・・」と。

例えば、団体競技がありますが、練習をするうちに楽しさが出てきます。忍耐力や協調性、努力するとか、そういったことを体験し身につける良い機会ととらえています。全員が全力で取り組み、それが『心が動く＝感動』につながっていく。結果は相手があることなので、自分の力だけでコントロールできませんが、勝利のためにやるべきことに手を抜かない。意識して自分のできることを一生懸命にやる。かっこいいではありませんか。

選手に選ばれない人もできますが、「なんで自分が出ることができないんだ」と、「自分自分」ばかり言っているのは勝利は遠のいていくでしょう。少し高い目標設定で子どもたちの頑張りを引き出ししていく、これが学校行事の醍醐味です。さあ、児童の皆さん、本番までの練習期間が勝負です。良いパフォーマンスを!!

◎ 避難訓練・・・9/17(木)5時間目 地震からの津波による垂直避難

2分36秒・・・授業中に地震が起きたとき、まずは身の安全を確保する。頭を守るために身をかがめ机の脚を持って揺れが収まるのを待つ。揺れが収まったあと指示に従い、校舎から離れた運動場の指定場所に出席番号順に避難。各学級の児童の点呼が終わり報告を受けるまでにかかった時間が実に2分36秒。安否確認を迅速に行うことは最重要であることを皆が意識してくれています。とても素晴らしいことです。6年生早かったですね。

グラウンドの状態はあまりよくありませんでした。少しぬかるんだ個所もありました。課題は、どのような状況でも、集まった時に自分で静かに座って待つこと。担任はより早く学級の状況を確認することができます。また階段を降りるとき、1・2年生は階段の手すりを利用することがより安全につながります。その時上級生が意識しなければならないことは何でしょうか？ 皆で考えましょう。

津波が来ることを想定した垂直避難では、園児さんはじめ全校児童が3階廊下に避難しました。津波はどこからどのように何mの高さで押し寄せてくるか、見当もつきません。今回伝えたのは3階廊下の高さ(海拔)でした。城東小学校の3階廊下の海拔は44m。学校の門の地点で34mです。実際に測定しましたら45.7mですが、44mと覚えておいてください。校舎が2次避難に使えない場合、より高い場所を目指して移動します。岸和田市総合防災マップ(更新日2026.2.24)では、本校区に津波の到達はありませんが、より正確な情報と早い判断が必要になり地域との連携が欠かせません。



1次避難場所へ

不安やパニックから心を落ち着かせつつも、想定外の事態に備え正常性バイアスの危険性を意識しておくことも大切です。

◎4年生「赤い羽根募金等の取組み学習」・・・9/18(金)

社会福祉協議会の方による募金活動の目的や使い道などを真剣な態度で聞きました。



聞く姿勢

◎学校生活のひとコマ



秋の虫探し



クラブ活動



社会科授業

授業参観のお礼・・・9/11(金)

1学級がインフルエンザによる学級閉鎖を行いました。その後の多学年や該当学級での感染の広がりではなく、無事に授業参観を実施することができました。児童の皆さんのマスク着用や保護者の皆様のご協力ありがとうございました。また同日予定していました引き渡し訓練は、1月31日(日)の授業参観(城東フェスティバル)後に延期していますのでご了承ください。

9月14日付の『人権教育だより』で配信したものは、児童による平和学習の感想や考えを掲載したものでした。

今回の授業参観(人権学習参観)では、保護者の方の感想を紹介いたします。お寄せいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



保護者の感想(抜粋)

- ・それぞれが好きなこと、嫌いなことを認め合えるのは大切だと思いました。人と違う自分を知って、自分もお友だちのこともより理解を深めて仲良くなってほしいと思います。
- ・人権学習について集団で取り組み、お互い気づきあうという時間を持ってもらえるのはとてもありがたいと感じました。好きなもの、苦手なものが、みんなそれぞれ違うということ、お互いが歩み寄る事はまだ今の段階では難しいと思いますが、「そんな考えもあるんだ」とか「みんなが同じじゃなくてもいい」「みんなと一緒にやらないことを責めるのは違う」など、一人ひとりが心のどこかでそう思ってお友だちと関わり合えたらいいなと思っています。
- ・クラスの友だちのことも知れるし、自分のことも考える時間になってよかったと思います。
- ・いつも大変ななか、先生が頑張って授業されているのがわかりました。先生の話や内容としてはとても良かったと思います。
- ・人権学習という難しそうなイメージでしたが、すごくわかりやすい授業で子どもたちも集中していて良かったです。
- ・2番目の悪者というお話も、子どもたちの考えもとても興味深く聞かせていただきました。良くない噂を耳にしても、自分は広げないというのは大人になっても大事なことで本当にそうだなと改めて考えさせられました。簡単に広められる。今だからこそ自分の言葉に責任を持ち、事実かどうかよくわからない話で誰かを傷つけてしまう可能性があることをこれからも忘れずにいてほしいと子どもともお話ししました。本日はありがとうございました。
- ・子どもたちにわかりやすくなるように気球を例に出し、そしてカードの用意など授業を行うために数々の準備物、大変だったと思います。ありがとうございました。思っていたよりふざけることなく授業に集中していたと思います。ありがとうございました。